

国連グローバル・コンパクトへの参加について

グローバル・コンパクトは、1999 年 1 月、スイスのダボスで開かれた世界経済フォーラムの席上でコフィー・アナン国連事務総長(当時)が世界各国の企業に対して提唱し、2000 年 7 月に企業市民のイニシアティブとして発足されました。企業が人権、労働、環境、腐敗防止の 4 分野で世界的に確立された 10 原則を支持し、責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加することを求めています。

SMFG は 2007 年 12 月より「グローバル・コンパクト」に参加し、人権・労働・環境・腐敗防止にかかる 10 原則への支持を表明しています。また、「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」の一員として、CSR 報告書や ISO26000 に関わる分科会等に参加し、加盟企業とのコミュニケーションを図っています。

持続可能な社会実現と国際的な問題解決のための協調的なイニシアティブである「グローバル・コンパクト」の考えを継続的に取り入れることで、当社の CSR マネジメントの精度を一層高め、より質の高い CSR 活動を展開していくことを展望しています。

三井住友フィナンシャルグループ

取締役 執行役社長(代表執行役) グループ CEO

國部 毅

グローバル・コンパクトの 10 原則

- | | | |
|------|--------|------------------|
| 人権 | 原則 1： | 人権擁護の支持と尊重 |
| | 原則 2： | 人権侵害への非加担 |
| 労働基準 | 原則 3： | 組合結成と団体交渉権の実効化 |
| | 原則 4： | 強制労働の排除 |
| | 原則 5： | 児童労働の実効的な排除 |
| | 原則 6： | 雇用と職業の差別撤廃 |
| 環境 | 原則 7： | 環境問題の予防的アプローチ |
| | 原則 8： | 環境に対する責任のイニシアティブ |
| | 原則 9： | 環境にやさしい技術の開発と普及 |
| 腐敗防止 | 原則 10： | 強要・賄賂等の腐敗防止の取組み |